

クラスター	地域健康増進系クラスター			
授業科目名	疫学研究			
担当者名	責任者	野村 恭子	分担者	—
単位数	1単位(選択)		配当年次	1年次
授業形態	講義(WebClass)		実施場所	授業計画の[実施場所]を参照
開講期間	2026年4月下旬～2027年1月末日			
開講曜日・時間	オンディマンド			

授業の概要・到達目標

授業の目的:大学院博士課程における研究立案に必要な疫学方法論の概要について学ぶことを目的とする。

授業の到達目標: Evidence based Medicine(EBM)のステップに沿って, PICOによる仮説の立て方, 研究デザインの選定のため, 各種デザインの長短を学び, 研究計画書を書くために必要な基礎的な疫学に係る知識を習得することを目標とする。

授業の概要:

1. 疫学研究デザイン, EBMとPICO
2. 横断研究
3. Case Control Study
4. Cohort Study
5. RCT
6. スクリーニング検査
7. メタアナリシス
8. 質的研究と混合手法

授業計画

	講 義 題 目 (講 義 内 容)	担当教員	講座名 〔実施場所〕
1	疫学研究デザイン, EBMとPICO	野村 恭子	衛生学・公衆衛生学 〔WebClass〕
2	横断研究		
3	Case Control Study		
4	Cohort Study		
5	RCT		
6	スクリーニング検査		
7	メタアナリシス		
8	質的研究と混合手法		

授業形態および成績の評価方法・基準

WebClassでの講義30時間＋自学自習15時間, 計45時間で1単位とし, 評価は3分の2以上の視聴時間で行う。

問い合わせ先(氏名, メールアドレス等)

鄭 松伊, jonsoni@med.akita-u.ac.jp

その他特記事項

履修に関する情報: WebClassにて講義を各自視聴する。 ※視聴推奨期間 4月下旬～12月31日
課題提出のスライドを各回の最後に付すので, 上記の問い合わせ先まで提出すること。

教科書・参考文献: 必要に応じて資料を配付する。

自学自習における学習内容: 到達目標や授業内容に応じた準備学習を行うことが望ましい。